

あなたとさいたまをむすぶ

トトロのふるさと

Hometown of "TOTORO"

埼玉民医連
医療生協さいたま
ワークスタイルマガジン

Dec
2015
No.175

12

埼玉協同病院ドクターの

伝えたいコト。

トトロのふるさとFriends

アスベスト問題について

埼玉といえば…なに？

埼玉あるある 4コマ漫画連載中！

リニューアル
創刊3号

これから医師になる
あなたへ

ワークスタイルマガジン
トトロのふるさと

〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂1317番地 048-296-5822
埼玉協同病院 教育研修センター www.skymet.jp/ 〒サイエンス編集：パソナロダックス株式会社

Doctor's Off Time

ドクターズ・オフタイム

埼玉協同病院 小児科 和泉 桂子

戦後70年平和祈念『第九』



2003年医療生協さいたま10周年記念コンサートに参加して合唱の楽しさを知り、そのメンバーが結成した女声合唱グループ、「川口第九を歌う会」に参加しました。記念コンサート、川口第九の1年目は荒熊先生と一緒しました。現在は、主に宗教曲を歌う混声合唱団に所属しています。

先日「戦後70年平和祈念第九」を全国から集まった100名を超える人々とドイツの合唱団と一緒にベルリンフィルハーモニーホールで（オケは残念ながらベルリンフィルではなくベルリン交響楽団でした）歌ってきました。コンサートは成功裡に終わり、ドイツの人々のスタンディングオベーションに感激しました。

コンサート前日には、ポツダム市にあるヒロシマ・ナガサキ広場でポツダム市長（代理）、日本公使と共に記念の植樹、「さくら、さくら」の献歌を行いました。広場はポツダム会談が行われていた時にアメリカのトルーマン大統領が宿泊していた建物の前にあり、被爆した広島市電の敷石、長崎の石が英語、ドイツ語、日本語で書かれた碑文と共にありました。碑文には日付と共に（会談が行われていた間に）「大統領が同意して原爆投下命令が下された。核兵器のない世界を願って」と書かれていました。原爆投下命令が出された場所に、ヒロシマ・ナガサキ広場があり、被爆した石が展示されていることに大変驚きました。そして「絶対に忘れない」というドイツ人の信念に触れる思いでした。

普段の練習には半分以上しか出席できませんが、このようなコンサートに参加でき、改めて戦後70年について考えることができたのも、合唱を続けてきたご褒美かなと思っています。

Information

埼玉民医連・医療生協さいたま 第22回奨学生交流集会

奨学生交流集会は、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士を目指す学生たちが、将来ともに働く仲間として年に一度集まり、学習と交流をしています。奨学生ではない方も参加できますので、お問い合わせください。

■日時 12月20日（日）9：30～19：00 予定
■会場 J A 共済埼玉ビル（大宮駅より徒歩13分）
■対象 医学生
■参加費 無料
■内容 一年間の活動報告・交流会を行う予定です。

埼玉協同病院 見学・研修説明会

■日時 12月26日（土）、1月30日（土）、2月27日（土）、
3月26日（土）いずれも10：00～12：30
■会場 埼玉協同病院
■対象 医学生
■参加費 無料

奨学金制度説明会

■日時 1月16日（土）、2月6日（土）、3月5日（土）いずれも
10：30～12：00
■会場 埼玉協同病院
■対象 医学生
【埼玉民医連・医療生協さいたま奨学金制度概要】
①貸与金額 月額80,000円
②返済免除制度あり（当法人に入職した場合）
③特別貸付制度・入学時貸付制度あり

医学部合格お祝い会

医学部に合格された方へ、埼玉協同病院の医師や研修医がお祝い会を開きます。参加される方は、事前にお申込みください。

■日時 2016年3月5日（土）、3月26日（土）予定
いずれも10：00～12：30
■会場 埼玉協同病院 医局
■対象 2016年度 医学部医学科への入学決定者
■参加費 無料
■内容 医師・研修医・現役医学生との交流食卓会

お申込み
お問合せは
こちら

埼玉協同病院 教育研修センター SKYMET

048-296-5822 skymet@mcp-saitama.or.jp

発行：

埼玉民医連

医療生協さいたま

M4251114789651524





外科技術部長

いちかわ

たつ

お

市川辰夫

#05

Message from the Doctor

地域の医療ニーズに

応えるのがすべて。

その考えに共鳴してくれる
後継者を育てたい

相手にとって重い宣告でも
真実を話して、ともに戦う

外

科医をやっていると、どんなに手を尽くしても難しい状況になってしまいうことも多くあります。その度に、何度外科医を辞めたいと思ったかわかりません。いちばんキツかったのは、私が執刀した外科の看護師長の身内の方が亡くなってしまったとき。あのときは、看護師長さんと何時間くらい話したか……「もう辞めるかもしれない」「怖くてメスが持てない」——そ

う言った私に対して、看護師長は「私の身内の死を無駄にしないでほしい」と。そう言われてからは、なるべく多くの人にそんな思いをさせないよう、使命として重く受け止めて努力し続けるしかないと心を固めました。また、そのためには本人や家族の協力も不可欠です。以前は癌などは本人に伝えないのが普通でした。でも自分の状態を本人が知らない、方針を決められないのはおかしいですよね。なので、患者さんにとって辛いことでも、真実を伝えて、どう戦うのか一緒に考えています。

後輩の育成を通して
自分が通ってきた道を
振り返る

こ

これまで何人もの若い医師の指導にあたってきましたが、指導するときは個人の自主性を損なわせないということが大事なんです。ある程度自分自身で判断して手術を進められるようにしないと、先に繋がらないんです。手術や医者としての仕事以外でも、人間が何かに取り組むときは、自分でちゃんと目標を決めて、その目標に向かって取り組まないとダメなんだと思います。しかもその目標は「自分がよければいい」というものではなく、世の中のためになるようなことでなければいけない。今は、新しく外科医を目指す人が年々減ってきています。医者になっても、2年間の研修のうちに「外科は大変」だと避けてしまう傾向もあるようです。ですが、これは世の中になくてはならない仕事。本当は小学生、中学生くらいから医療や福祉の勉強をする必要があるのかもしれない。「勉強をしろ」「塾へ行け」といい続けて、「テストの成績がよかったから医学部に行った」となってしまうのではなく、もっと人の命を救うことに対して、我々大人が教えていく必要があると思っています。

病院のレベルを高く
保つことがすべての人に
医療を届けることに繋がる

1

978年の埼玉協同病院の開設メンバーとして外科を担当してきましたが、当初は自分の力も含めて本当に何もありませんでした。基本的に我々は大学の医局の支配下にならないという意識があったので、すべて自力でこなす必要がある。と同時に、地域の医療のニーズに応えられる力を身につけなければならぬ。そう思いながら、ずっと走り続けてきました。37年経ち、私を含めた創設当初の医者が定年を迎える年齢になってきた今、必要なのはこの意思を次いでくれる後継者です。経済的に困っている人が、きちんとした治療を受けられないなどということはあつてはならない。例えば今、お年寄りで認知症もあり、経済的に困っている人が手術を必要としている。そういう人を有名な病院に紹介しても、断られてしまうことが多くあるのが現状です。だからこそ、私たちがちゃんと頑張らないといけない。つまり、この病院の技術や質を落とすわけにはいかないのです。



市川 辰夫 | Profile

出身 新潟県
大学 1977年 新潟大学卒業
職歴 1977年 埼玉協同病院入職(旧生協診療所)
東京女子医科大学病院で1年間
外部研修を経て埼玉協同病院外科
1981年 国立がんセンター中央病院で
半年間外部研修
2004年 さいわい診療所所長
2007年 埼玉協同病院外科

佐野 貴之

「外科医としての技術を

高めながらこの地域に

住む人の健康を守っていく

薬学部から医学部を再受験
外科医としてスキルアップを
目指す

は

じめは国立の医学部を志望していたのですが、なかなか相性が悪く、一度、東京理科大学の薬学部に入りました。それでも医師になる夢を捨てきれず、2年生のときに大学に通いながら並行して受験勉強を再開し、幸運にも高知大学医学部に合格しました。学生の頃は小児科をやりたいな、と漠然と思っていたのですが、研修を受けていく中で、さまざまな技術を身につけていかなくてはならない外科に惹かれて、外科の道へ進むことになりました。特に今は、腹腔鏡手術に力を入れています。外科は自分が確実にステップアップしていることが実感できるので、それがモチベーションに繋がっています。

外科医としてのスキル向上を目指して、JA長野厚生連佐久総合病院で1年間の外部研修へ。日々のトレーニングの上に、折れない心を持って診療にあたり、埼玉協同病院の外科を支えている。



手術は1人ではできない
チームプレーを重視した戦略

腹

腹腔鏡手術は通常、執刀医、助手、スコピスト（腹腔鏡カメラを持つ）の3名とそれを補助する看護師のチームで行われます。開腹手術の場合は、視野

が開けていて手を入れれば臓器に届くので、解剖の理解があり、個人の技術を高めればある一定のレベルまで達することはできます。しかし、一般の鏡視下手術は、二次元の画面を見ながら三次元の動作をしなければならず、手の感覚とモニターだけが頼りです。（最近は3Dシステムやロボット支援システムなど、鏡視下手術が発展・多様

外科医は良いオペをしなければダメ
常に向上心を持ち続ける

手

術以外の時間でも、体腔内で糸を結ぶトレーニングキットで練習したり、学会主催のトレーニングコースに参加しています。他にも、一流の先生のオペビデオを繰り返し見て、手術の技を盗みます。両手を自由に動かせるようになりたくて、左手でご飯を食べていたら、箸の動きも大分上達しました（笑）。

外科の手術は患者さんの人生に関わってくることもあり、責任がとても重いです。手術した結果、具合が悪くなったら言い逃れできない。だからこそ、これまで学んできたことをいかして、日々ステップアップしていきたいです。

外科は大変といえ大変ですが、若い医師や学生さんにこそ、目指してもらいたい分野だと思います。

佐野 貴之 | Profile

- 出身 埼玉県ふじみ野市
- 大学 2005年 高知大学卒業
- 職歴 2005年 埼玉協同病院入職
2007年 埼玉協同病院にて初期研修修了
2011年 JA長野厚生連 佐久総合病院で一年間の外部研修
2012年 埼玉協同病院外科



トトロのふるさと Friends

埼玉の医療を考える会

埼玉の医療問題について考えよう

■アスベスト問題

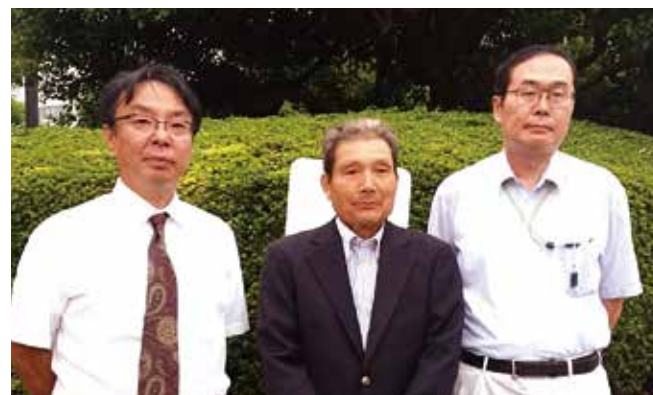
皆さん、アスベスト問題はご存じでしょうか？2005年6月のいわゆる「クボタショック」によりアスベストによる健康被害は日本全国で知られるようになりました。

アスベストは耐熱性、科学物質に対する耐性等、工業的には非常に優秀な物質として、第2次世界大戦前から工業、軍事目的に使用されてきました。問題はその人体に対する毒性です。戦前から石綿工場従業員の調査が行われその危険性が指摘されてはいましたが、戦後になっても石綿粉じんに対す

曙ブレーキアスベスト被害賠償訴訟

医師証人尋問の報告

埼玉民医連・医療生協さいたま生活協同組合 小野民外里



左から宮岡医師(熊谷生協病院)、五月女さん(原告団団長)、小池医師(埼玉協同病院)

ティンクを重ねて医師意見書を作成し、平成27年6月に裁判所へ提出しました。そして、被告側は厚生労働省「石肺関連疾患の診断基準及び手法に関する調査研究」委員などを務めたK医師、原告側は宮岡医師を証人とするものが裁判所に承認され、8月28日に証人尋問が行われることとなりました。

証人尋問当日は、傍聴席がほぼ満席となりました。

この裁判では、結審間近となつてから、被告・曙ブレーキが被害者のカルテや胸部CT画像などの取り寄せを求める申し立てを行ない、しかも、取り寄せた画像などを根拠に、被害者のじん肺管理区分決定や労災認定に誤りがあると主張しました。

原告弁護団は埼玉民医連に協力を求め、熊谷生協病院副院長の宮岡啓介医師と埼玉協同病院健康増進センター長の小池昭夫医師が原告弁護団とのミ

まず、被告側証人であるK医師の証人尋問が行なわれました。K医師は本件被害者9人のじん肺管理区分認定を誤りであると主張しました。じん肺管理区分が誤っている理由としては、じん肺管理区分を判断する際の基準となる標準フィルムと申請者の胸部X線写真をきちんと比較しない審査医が多く、個人的な判断で判定しているからだと言いました。また、亡くなった被害者についても、短期間で増悪しているのに石綿肺ではないなどと主張しました。原告弁護団の、胸部X線写真だけで石綿肺がそうでないかを判定するのは不可能ではないかという質問に対しては、これまではそうだったが、研究によって胸部X線写真、胸部CT画像、HRCCT画像から鑑別する方法を見出したと述べました。しかし、その



夜の交流会ではゲーム大会や軽食を準備して、親睦を深めます。昨年度はカルタ大会を開催。※詳細は裏表紙のInformationをご覧ください。

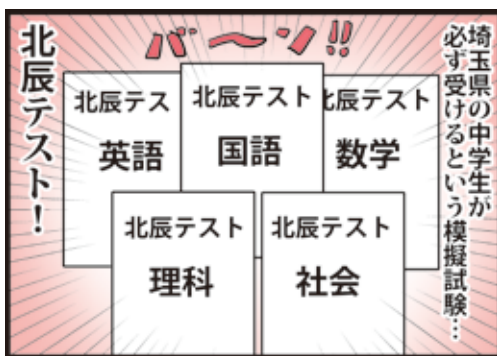
【企画のお知らせ】

埼玉民医連 医療生協さいたま
第22回奨学生交流集会
～参加者募集！～

開催日
12/20
(日)

医療生協さいたまでは、毎年、医学生・看護学生・薬学生・リハビリ学生・介護学生等の奨学生が集まり、奨学生交流集会なるものを開催しています。各職種の奨学生による1年間の学び報告、学習講演やグループワークで医療や社会問題についてみんなで学習し、将来、医療従事者になった時の心構えを養います。医療の道を志す仲間たちと語り合い、埼玉の医療について考えませんか？

テストといえば



さいたまあるある

さいたま、な～んもない!!

「埼玉県ご出身なんですね。埼玉は何が有名なんですか？」と聞かれ、「え～と……？」とさっに出ない埼玉県のセールスポイント。埼玉県人なのに、埼玉のいいところを言えない人が少なくない、悲しい現実。。あるんですよ、いいところ！さいたまにだって!!

る対策が充分行われていませんでした。そのため従業員のみなならず工場周辺の住民にも中皮腫の患者が出現しました。この経緯から現在各地で石綿問題に対する訴訟がおこされています。

川口は古くから鋳物の町と知られ、川口診療所や埼玉協同病院では多くのじん肺患者を診てきました。今回のトトロのふるさと Friendsでは、埼玉協同病院と熊谷生協病院の医師が実際に関わり、現在も裁判が続いている埼玉県羽生市の曙ブレーキ工業株式会社(以下、曙ブレーキとする)に対するアスベスト被害賠償訴訟についてご紹介します。

続いて、被告弁護団による反対尋問

鑑別方法は論文の専門誌への掲載を待っている段階であり、まだ公表に至っていないものだというのが確認されました。また、具体的な根拠も示さず、原告らに高濃度で長期間のアスベストの曝露はないと判断したと述べました。

また、第二次提訴の準備、国に対する損害賠償請求訴訟などの取り組みも行なわれており、埼玉民医連としては引き続き支援していこうと考えています。

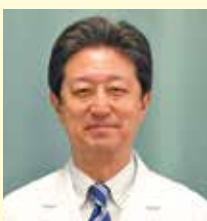
きみもトトロのふるさとFriendsに登録しよう!

医学生、そして、医学部を目指している皆さんにご案内します。埼玉は人口当たりの医師も看護師も病床も日本一少ないにも拘らず、今後日本一急速に高齢者が増える県です。このままだと増大する需要に対応出来ず、現在の医療崩壊状況がさらに悪化することは必至です。埼玉県で働く医師や看護師を抜本的に増やすが事どうしても必要であり、この問題の解決と一緒に取り組んでくれる仲間として、会に参加してくれる方の応募を心からお待ちしています。

トトロのふるさと Friends に参加していただける方は右のQRコードを読み取り、登録フォームよりご登録ください。

連絡・問い合わせ先 | 埼玉協同病院 教育研修センター

<http://www.skymet.jp/>
<https://www.facebook.com/kyoudou.skymet>



埼玉協同病院 院長
増田 剛

